

平成21年度 第13回梅坪台地域会議 会議録

日 時 平成22年3月24日(水)午後7時~午後9時

場 所 梅坪台交流館 大会議室

出席者 委 員 大杉谷正和(会長)

池山藤子(副会長)

石川和正

酒井正子

菅野宏誌

杉浦紀子

高田政典

中根竹生

中根 甫

三岡義和

古市悦朗

宮崎旭史

村山清子

元田久男

山根満智子

事務局 高部広明(自治振興課副主幹)

寺田 剛(自治振興課係長)

加知直人(自治振興課主査)

近藤絢子(自治振興課書記)

欠席者 小笠原雄一

橋本初夫

山岸健次

- 1 開 会
- 2 地域会議会長あいさつ
- 3 わくわく事業について
 - (1) 審査基準について(確認)
 - (2) 事業のあり方について(意見交換)
- 4 梅坪台地域会議について
 - (1) 会議の運営方法について
 - (2) 地域予算提案事業について
 - (3) その他
- 5 閉 会

内容（要約）

3 わくわく事業について

（１）審査基準について（確認）

事務局より、わくわく事業に関する全地域会議共通ルール、梅坪台地域会議のルール、包括外部監査での指摘事項、花いっぱい運動の統合について概要を説明。

（２）事業のあり方について（意見交換）

委員 包括外部監査の指摘事項において、事業目的に照らして事業効果が低い事業が存在するとあるが、具体的にはどの事業のことを言っているのか。

事務局 具体的にどの事業ということはないが、ユニフォームや楽器の購入などに関して指摘を受けた。

委員 事業効果を上げると言っても団体は利益を出すことは出来ない。事業効果の判断は難しいように思う。

委員 審査基準については、地域によって厳しさが違う。地域格差が出ないように、ある程度一律な基準が必要だ。

事務局 以前、わくわく事業の審査基準に関する検討委員会を設けた。その結果、まずは各地域会議で意見出しを行い、一律に揃えられるものは揃えようということになった。今回はその意見出しの機会だと考えていただきたい。

委員 梅坪台ではユニフォームなどの消耗品は不可としているが、楽器などの備品については趣味的な物と捉えられる可能性もある。

委員 作業する人へのお茶代は認めるのに、花へ水をやるための水道代を認めないのはおかしい。水は花を育てる上で必要不可欠であり、水で苦労している団体もある。水道代については次期委員で是非検討して欲しい。

委員 花いっぱい運動から移管される団体について、プレゼン審査なしの場合もあるとのことだが、同じようにプレゼンすべきではないか。来年度から新たにわくわく事業に参加する団体には従来どおり審査が必要なのに、花いっぱい運動から移管される団体のみ特例扱いをするのはおかしい。同じ税金を使うのであれば、同じようにプレゼンすべきだ。

事務局 花いっぱい運動から移管される団体のプレゼン審査の有無は、各地域会議の判断に委ねられているため、その点も含めて審査方法について検討していただきたい。

委員 実績報告会に関しては、各団体の収支決算書を来場者全員に示すべきだった。発表でも金額のことについては触れて欲しい。また、ホームページに各団体の収支決算を掲載するなどしてはどうか。

委員 なぜこの事業にこれだけ必要なのかと疑問に感じている人もいた。使途が不明瞭だと理解がされにくい。

委員 プレゼンする団体の数が多すぎないか。

- 委員 ある基準を設けて、その基準以下であれば報告はなしにするなど簡略化してもよいのでは？
- 委員 更新事業で内容が変わらない場合、プレゼンを略す地域もある。新しい団体に費やす時間や、各団体と意見交換する時間を増やしたい。
- 委員 委員から意見を出して、団体をやる気にするような働きかけが必要だ。
- 委員 実際に現場を見ることも良いと思う。現場を見たら、報告会を略すというやり方もあるのではないか。
- 委員 いずれにせよ「わくわく」する事業であって欲しい。
- 委員 事業を行うからには「税金を使ってやっている」という意識を団体にもってもらいたい。
- 委員 わくわくの審査基準は1期目と2期目で大きく変わり、良い方向に変わったと思う。その年々で良い方法を実施してもらえば良いと思う。
- 委員 1期目の審査はとても厳しかったが、そのくらい厳しさがあっても良かったと思う面もある。自分の地域からはわくわく事業にあまり参加がなかった。委員に選ばれてもなかなかPR出来ず、自分の地域にうまく広げられなかったことは残念。
- 委員 わくわく事業は地域によっては全く実施していないところもあり、認知度を上げる必要がある。
- 委員 豊田市には「ふるさと感」「ふるさとづくり」が欠けているように思う。わくわく事業を行う中で、そうした心の輪を作っていくものと思っていたが。
- 委員 審査を厳しくし過ぎては若い人達が育たない。若い芽をつまないようにして欲しい。

4 梅坪台地域会議について

- 委員 プレゼンの時間が短いように感じる。通常会議は今のままで良い。
- 委員 もっと盛り上がる様にしたい。
- 事務局 例えば委員の方から議題提供をするような方法があっても良いのではないかと。
- 委員 地域の現状に加え、今後この地域がどのような動きをするのかを知った上で議論が出来ると良い。地域に関するさまざまな資料が市で手に入るため、そういった資料を一つの題材として用いるのも良いのではないかと。
- 委員 1年間の進め方が分かるまでに時間がかかった。就任してすぐに1年間のスケジュールが分かると良い。年度当初にスケジュールが分かれば、どの時期にどんなことをする必要があるのかが分かり、その後も動きがとりやすい。
- 委員 いつどれくらいのレベルで何を行うのか、しっかりしたスケジューリングが必要だ。
- 委員 「防犯」を進めると、ある面で自然破壊につながってしまう可能性もある。事業を進める中で同時に自然環境の維持も意識して欲しい。

- 委員 来年度はいよいよ地域予算提案事業を実施するが、やったことに対する反応をみることも大切。地域の反応をみながら事業をそのまま継続するか、または方向転換をする必要があるのかなど検討していきたい。
- 委員 事業実施には自治区の協力が不可欠。地域の皆さんと意見交換を行う中で理解を得ながら進めるべき。
- 委員 地域会議の果たす役割が最初に比べると随分変わってきた。ただし地域会議の認知度が低いため、もっとPRして欲しい。
- 委員 地域予算提案事業という大きな事業を承認していただいた。今後も地に足をつけて、現地現物主義で進めてもらいたい。